

# オアシスの風

宮城県東松島高等学校 発行

第53号

平成29年9月4日

とっておきの音楽祭 7月9日

## インターネット安全教室

5月2日(火)

I, II部 5, 6校時

III部 11, 12校時



近年増え続けているネット犯罪から自分自身を守るために安全教室が実施されました。具体的な被害事例などを知り、生徒達も考えさせられるところがあったようです。インターネットの有用性とその危険性について改めて確認する場となりました。

## 進路ガイダンス 5月12日(金)

進路目標達成に向け、全生徒を対象にガイダンスが実施されました。生徒は進路希望別に分かれ、企業や各学校の担当者から面接のポイントや入学後の学習内容などを説明をしていただきました。あらためて、社会に出る厳しさを感じさせられたようです。



## 避難訓練 6月27日(火)

大地震により大津波警報が発令されたという災害想定のもと、避難訓練が行われました。今年も二次避難も順調に行われ、I II部は屋上まで、III部は、校舎内の電気を消し停電を想定し三階まで、より実践的な内容で訓練が実施されました。東日本大震災から数年が経ち、生徒等の災害に対する意識は決して高いとは言えない状況となってきています。いかに真剣に取り組めるかが鍵となりました。

訓練後は、教頭先生より避難の4つの鉄則の頭文字をとった『おはしも』のお話をいただきました。生徒たちは防災に対する心がけについて、改めて考える機会となりました。



I, II部の様子

III部の様子

### 『おはしも』のおはなし

お～押さない  
は～走らない  
し～喋らない  
も～戻らない



## これからの行事予定

- 9/1(金) My Will!スピーキング
- 9/8(金) 前期第2回考査
- ~14(木)
- 9/25(月) 後期開講式
- 9/29(金) 生徒会選挙
- 10/11(水) 前期卒業式
- 10/27(金) 東松祭(校内発表)
- 10/28(土) 東松祭(一般公開)
- 第2回オープンキャンパス
- 11/8(水) 芸術鑑賞会

## 宮城県東松島高等学校

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸16

電話 0225(82)9211

FAX 0225(82)2021



## 特集 第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）弁論部門 本校生大活躍

### 『弁論のつながり』

生徒副実行委員長：西坂佳純さん（15年次）

私は生徒副実行委員長として、交流会を担当しました。交流会は全国から来る弁士の方々に、カードゲーム形式で防災について考えてもらったり、震災のことを知ってもらうのが主な目的です。今後どのように自然災害に対応するのか、より被害を軽減させるにはどのようにすれば良いかを考える良い機会になったと思います。その他にもお客様を案内したり、昼食のお弁当を配ったりと、様々な仕事をしました。



閉会式では壇上に立つので、何度も声に出して台詞を読みました。しかし、本番ではなぜか緊張が消え、肩も軽くなり、自然に笑顔がこぼれてきました。この時「みやぎ総文2017弁論部門の運営を行って本当に良かった」と思いました。弁論は成功し、生徒の皆にも笑顔が見られました。このような、大きな大会の運営に関われたことをとても誇りに思っています。これからも様々な活動に参加したいと、そう思うようになりました。みやぎ総文弁論大会は無事に終了しました。しかし弁論大会は未来に向かって続いていきます。「持っているだけなら嫌な過去だが、語ることで重要な意味を持つ」弁論と共に震災も語り継がれ、未来に繋がっていくのだろう。そう私は思っています。



### 『みやぎ総文弁論部門を運営して』

弁論部門代表委員：小澤理恵教諭

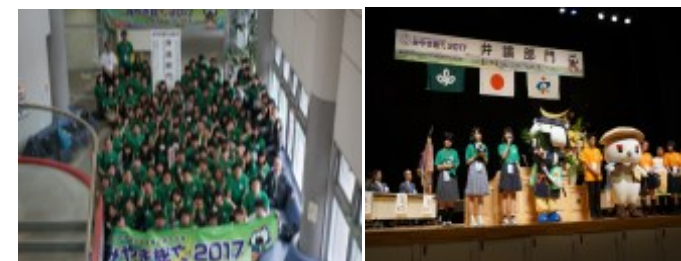
全国高等学校総合文化祭は文化部に所属する高校生の全国大会で、運動部のインターハイに相当する大会です。宮城県では初めての開催で、『みやぎ総文2017』という呼称でマスメディアに取り上げられ、ご覧になった方も多いと思います。



弁論部門の大会は、8月2日・3日の2日間、東松島コミュニティセンターで行われ、全国各地から予選を勝ち抜いた69名の弁士が集い、1人に与えられた7分間という持ち時間の中で自分の伝えたいことを言葉で表現する真剣勝負が繰り広げられました。大会運営については、県内7校から集まった80名あまりの生徒が協力し、会場準備・抽選会・リハーサル・生徒交流会も含めて4日間に渡って行いました。

弁論部門については、本県には部活動として弁論活動をしている学校がなく、平成25年度に東松島高校・築館高校・聖和学園高校の3つの学校を軸に県高文連弁論専門部が設立され、平成27年度に、仙台大志高校・南郷高校が、さらに一環として行う生徒交流会の協力校として昨年度から石巻西高、今年度から石巻高校が加わり計7校で弁論部門を運営することになりました。

80名の実行委員の内30名が東松島高校の生徒達で、副実行委員長の西坂佳純さんをはじめ、生徒会事務局のみなさん、各年次からの有志のみなさんが他校の生徒と協力して、運営しました。本校生は主に「受付・接待・弁当」係と、弁士や来場者がホールや各控え室に安全に入退室出来るように案内する「管理」係を担当しました。この2つの係は来場者に直接対応する機会が最も多く、大会の印象を左右する大切な仕事のため、全国から訪れるすべての来場者にきめ細かく温かいおもてなしが出来るように、地元の学校でもあり、「人に優しい人づくり」を目指している本校の生徒が受け持つことになったのです。準備・リハーサルを含めて7月31日から4日間連続での大会運営でしたが、誰一人として疲れた顔を見せず、生き生きとした笑顔と真摯な姿勢で対応し、その姿に感銘を受けたと多くの方からお褒めの言葉をいただきました。



今大会は、開催地である東松島市の渥美市長様をはじめ東松島市教育委員会様、地元の企業・団体の皆様方からいただいた物心両面での多大なご協力、そして運営に携わった生徒の多くが、連日、早朝に自宅を出て夜遅く帰宅する苛酷な日程だったにも関わらず、体調管理や送迎等の面でご支援・ご協力を下さった保護者の皆様のおかげをもちまして、成功裏に終わることができました。

今後は、今回の貴重な経験を通じて学んだことを、それぞれの生徒がこれからの学校生活や将来の進路に生かしていけるようにサポートしていくと共に、今後の教育活動のさまざまな面に生かしていきたいと考えております。